

下部消化管出血に対する血管塞栓術：リアルワールドデータを用いた包括的分析

1. 研究の対象

※日本全国の DPC 病院において、2018 年 4 月から 2023 年 3 月の間に、救急車で急性期病院に入院し、重症下部消化管出血のため入院 1 日以内に血管造影検査を受けた 16 歳以上の患者様

2. 研究目的・方法

※研究目的：日本全国の DPC データベースを活用して、下部消化管出血に対する血管塞栓術において、塞栓剤としてコイルを選択した症例と NBCA を選択した症例とを包括的に分析し、多角的な視点から最適な塞栓剤を解明するため。

※研究方法：提供申出者は、厚生労働省が定めた様式に沿って、提供申出書に記載する。審査の結果、承認されれば、厚生労働省の用意した媒体によって匿名診療等関連情報が提供されます。(1) LGIB に対する TAE:コイルと NBCA の有効性と安全性の比較、(2) NBCA の保険承認前後での塞栓剤選択状況、安全性と有効性の比較、(3) LGIB に対する TAE に関する費用対効果分析を行います。

※研究期間：厚生労働省の実施許可日～2026 年 12 月 31 日

※利用又は提供を開始する予定日：2025 年 4 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、Japan Coma Scale、Charlson comorbidity index、Barthel index、入院 1 日以内の昇圧剤又はトラネキサム酸の投与、アルブミン値、赤血球輸血、FFP 輸血、血小板輸血、入院 1 日以内の処置(人工呼吸器、人工透析、動脈圧モニターまたは CT 撮像)、診断(憩室出血、大腸癌、直腸潰瘍、直腸出血、直腸癌など)。

4. 外部への試料・情報の提供

※本研究は香川大学公衆衛生学教室との共同研究です。得られたデータを元に費用対効果分析のサポートを受けます。

5. 研究組織

高知大学医学部放射線診断・IVR 学講座 松本知博

高知大学医学部附属医学情報センター 畠山豊

香川大学医学部公衆衛生学講座 平尾智広

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。尚、本研究では個人情報を使用しません。

照会先

住所：〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

Tel：088-880-2367

所属：高知大学医学部放射線診断・IVR学講座

担当者：松本 知博

住所：〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

Tel：087-891-2133

所属：香川大学医学部公衆衛生学講座

担当者：平尾 智広

-----以上